

市民の皆さまへ

「まん延防止等重点措置」延長に伴う緊急メッセージ

可児市が対象区域に指定されている「まん延防止等重点措置」の岐阜県への適用が 6 月 20 日（日）まで延長されました。

市内では、職場内、家族間、接待を伴う飲食店などでのクラスター発生が続いており、直近一ヶ月の人口 10 万人当たりの感染者数は非常に多く、県全体の二倍近い水準になっています。

特に外国籍市民の感染割合が高いことから、これまで以上に対策を強化していきますが、現下においては、可児市を含む中濃圏域の病床使用率はひっ迫しており、重症患者が遠方の病院へ行かざるを得ない例も出るなど、危機的な状況が続いています。

また、若年層の方も重症化し後遺症に悩まされる事例も報告されるなど、多世代に渡る感染、重症化が憂慮されます。このような状況の中で、直近では、新型コロナウイルス感染者の多くが感染力の高いといわれる変異株によるものになってきており、とりわけインド型変異株の感染拡大が懸念されるところです。こうした変異型ウイルスではマスクを着用していても感染する事例も報告されるなど、より慎重な行動が必要です。

ここで感染防止対策を縮小し、行動変容に弛みができれば、再び感染が拡大し、窮地に陥ることはこれまでの経験から明らかです。

市民の皆さまには、今までも感染防止対策にご協力いただいておりますが、不要不急の外出自粛をはじめ、感染防止対策（手指衛生、三密回避、体調の管理等）の一層の徹底をお願いします。

令和 3 年 6 月 1 日

可児市長 富田成輝